

ニチレクのボール

＜概 略＞

サークルの中に立って標的球に向かって、2チームがそれぞれ違う色のボールを投げあい、より近づけることによって得点を競うゲームです。ニチレクボール(屋内用ペタンク)は軟らかい特殊なボール(400g)を使用しますので、体育館や会議室などで床をいためることなくプレーが楽しめます。

＜競技の進め方＞

競技者を2チームに分け、それぞれ違う色のボールを持ちます。(6個ずつ全12個使用)

◎競技者2名の場合……一人の持ちボールは6個でプレイします。

◎競技者4名の場合……一人の持ちボールは3個でプレイします。

◎競技者6名の場合……一人の持ちボールは2個でプレイします。

〔競技規則〕

1. A・B両チームの代表がジャンケンをします。……仮にAチームが勝ったとする。
2. Aチームがサークルを置いて、その中から標的球を転がすように投げます。距離は6m以上、10m以内です。
3. Aチームがボールを標的球にできるだけ近づけるように送球します。
4. Bチームがボールを標的球にできるだけ近づけるように送球します。その結果……
5. 次は、標的球から遠いボールのチームが送球します。
6. 同様に次も、標的球から遠いボールのチームが送球します。つまり相手のボールより近くなるまで投げるようになります。
7. しかし、仮にAチームがボールを全て投げ終わり、Bチームに残りのボールがあれば、そのボールも得点をさらにアップするために送球します。
8. A・B両方のチームがボールを全て投げきって1セットが終了します。もちろん標的球に近いチームが勝ちとなりますが、スコア(得点)は……例えば、相手チーム(負けチーム)のベストボールより3個近いボールがあれば3点となります。相手チームの得点は0となります。
9. 前のセットで勝ったチームが次のセットで送球サークルを置いて、標的球を転がしてゲームを進めていきます。以後、同様に繰り返していき、13点先取したチームの勝ちとなります。

〔得点計算の方法〕

- ・ ビュットに一番近くボールを配置させたチームが勝ちとなります。
- ・ 得点は、負けたチームのボールのうち、ビュットに一番近いボールより、さらにビュットに近い同チーム(勝ったチーム)のボールの数とします。
- ・ 事例ではBチームの勝ちで、得点は3点。負けたチームの得点はなく0点となります。13点を先取したチームが、最終的に勝ちとなります。

＜ 事 例 ＞

